

官報

號外 昭和十四年三月二日

○第七十四回帝國議會貴族院議事速記第十七號

昭和十四年三月一日(水曜日)午前十時八分開議

議事日程 第十七號

昭和十四年三月一日

午前十時開議

第一 昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 會議(委員長報告)

第二 昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會議(委員長報告)

第四 森林法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第五 林業種苗法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第六 軍用自動車検査法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマス

〔石橋書記官朗讀〕

去月二十五日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

寺院等ニ無償ニテ貸付シタル國有財産ノ處分ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

郵便年金法中改正法律案

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

軍用自動車検査法案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

森林法中改正法律案

林業種苗法案

去月二十七日第九部ニ於テ豫算委員赤池濃君ノ補關選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果土方久徵君當選セリ

同日委員長ヨリ豫算委員土方久徵君ヲ第四分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十四回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

陸軍省所管事務政府委員

陸軍砲兵大佐 中西 貞喜君

陸軍書記官 日高 巳雄君

去月二十八日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

昭和十二年法律第五十七號中改正法律案特別委員會

委員長 子爵三宅戶敬光君

副委員長 男爵山根 健男君

名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵後藤 一藏君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十二年度歳入歳出總決算、昭和十二年度各特別會計歳入歳出決算審査報告書

昭和十二年度國有財産増減總計算書審査報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

短期現役小學校教員俸給費國庫負擔法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

兵役法中改正法律案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十四回帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

商工省所管事務政府委員

商工書記官 山本 茂君

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案第二號、日程第二、昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案第二號、日程第三、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、會議、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、豫算委員長渡邊子爵

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

一 昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年二月二十八日

委員長 子爵渡邊 千冬

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵渡邊千冬君演壇ニ登ル)

○子爵渡邊千冬君 只今議題トナリマシタ昭和十三年度歳入歳出總豫算追加第二號、同各特別會計歳入歳出豫算追加第一號及豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號ノ各案ニ付、豫算委員會ニ於ケル審議ノ經過ノ大要並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、昭和十三年度歳入歳出總豫算追加第二號ハ歳入七百八十餘萬圓、歳出千九百八十餘萬圓デアリマシテ、差引歳入不足額ハ千九百九十餘萬圓デアリマス、右ハ昭和十三年度豫算實行上行ヒマシタ歳出節約ニ依ル財源餘裕額ノ中ヨリ充當スル計畫ト相成ツテ居ルノデアリマス、右歳入豫算ノ内譯ハ森林收入ノ増加十餘萬圓、刑務所收入ノ増加百二十餘萬圓、職業紹介事業ニ伴フ地方負擔金ノ増加百二十餘萬圓、官立大學特別會計資金部ヨリ繰入ノ増加百二十餘萬圓、治水事業費分擔金ノ増加百二十餘萬圓、輸出資金前貸補償收入二百二十餘萬圓、其ノ他二十餘萬圓トナツテ居ルノデアリマス、次ニ歳出豫算額ハ經常部ガ千四百四十餘萬圓、臨時部ガ五百三十餘萬圓デアリマシテ、其ノ中ノ大部分ハ既ニ第二豫備金ヨリ支出致シタモノノ年度内ノ所要額デアリマシテ、其ノ他ハ補充費途ニ屬スル經費ノ増額ニ關スルモノデアリマス、經費ノ中主要ナルモノヲ舉ゲマスルト、檢丁及新兵旅費ノ増加ガ百五十餘萬圓、警察費連帶支辨金ノ増加ガ三百餘萬圓、內國稅拂戻金ノ増加ガ七百七十餘萬圓、小額紙幣製造費ノ増加ガ五十餘萬圓、興亞院ニ關スル經費ガ四十餘萬圓、興亞院連絡部設置ニ關ス

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

ル經費ガ百六十萬圓、刑務所軍需作業施行等ニ要スル經費ノ増加ガ百七十萬餘圓、小學校教員俸給費臨時補助ノ増加ガ十餘萬圓、農林省所管ノ災害其ノ他施設費ノ増加ガ二百十餘萬圓、國有林臨時木材増産ニ關スル經費ガ十餘萬圓等デアリマス、右ノ中興亞院ニ關スル經費ハ、支那事變中支那ニ於テ處理ヲ要スル政治經濟及文化ニ關スル事務ヲ掌ラシムル爲ニ、昨年十二月内閣ニ設置セラレマシタ興亞院ノ經費デアリマシテ、其ノ一部ハ曩ニ第二豫備金ヨリ支出セラレマシタガ、其ノ本年度内所要額ト興亞院ノ連絡部設置ニ伴ヒ増加スベキ額トヲ計上シタルデアリマス、又興亞院連絡部設置ニ關スル經費ハ、支那ニ於ケル興亞院ノ事務ノ連絡ヲ掌ラシムル爲、今回現地ニ設置セラル、コトトナツタ連絡部ニ關スル經費デアリマス、小額紙幣製造費ノ増加ハ、昭和十四年度ニ於テ回收セラルベキ流通不便銀貨幣ノ引換ニ充ツル爲ニ、小額紙幣ノ製造ヲ更ニ増加スル必要ガアリマス、之ニ要スル經費ノ増加デアリマス、又小學校教員ノ俸給費臨時補助ノ増加ハ、今次事變ニ依リ召集セラレマシタ小學校教員ノ補充ノ爲、財政ニ困難ヲ來セル市町村ニ對シ、其ノ俸給費ノ一部ヲ補助スルモノデアリマスガ、其ノ後ノ情勢ニ依リ更ニ増加ヲ必要トスルニ至ツタモノデアリマス、農林省所管ノ災害其ノ他施設費ノ増加ハ、昨年各地ニ於ケル暴風雨等ノ爲損害ヲ被リマシタ耕地、林地等ノ復舊費、其ノ他ニ關スル補助等ニ要スルモノデアリマシテ、右ノ一部ハ曩ニ第二豫備金ヨリ支出致シタルデアリマスガ、其ノ本年度内所要額ヲ要求シテ居ルモノデアリマス、檢丁及新兵旅費、警察費連帶支辨金、内國稅拂込金等ハ何レモ補充費途ニ屬スル經費デ、豫算ニ不足ヲ告ゲマシタノデ其ノ増加ヲ要求シテ居ルモノデアリマス、次ニ昭和十三年度各特別會

計歳入歳出豫算追加特第一號ハ對支文化事業、造幣局、大藏省預金部、關東局、海軍工廠資金、帝國大學、官立大學、帝國鐵道、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、健康保險及簡易生命保險ノ各特別會計ニ關スルモノデアリマス、又豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號ハ、一般會計ニ於テハ昨年ノ災害ニ依リ自作農創設維持資金ノ償還猶豫ニ伴フ臨時助成金ニ關スルモノ外三件デアリマス、特別會計ニ於テハ海軍工廠資金特別會計ノ造船兵材料購入費ニ關スルモノデアリマス、以上ハ只今議題トナツテ居リマス豫算各案ノ大要デアリマス、右豫算追加各案ハ、先月二十三日衆議院ヨリ受領致シタルデアリマスガ、是ヨリ先豫算委員會同日午前既ニ昭和十四年度豫算各案ノ質疑ヲ終了致シ、二十五日ヨリ之ヲ各分科ニ付託スルコトニナツテ居リマシタノデ、審議ノ進捗ヲ圖リマス爲、豫算委員會ニ諮リマシテ、豫算總會ヲ省略シ、直チニ分科會ニ於テ審議致スコトニ定メタルデアリマス、先ヅ二十五日午前十時ヨリ開會セラレマシタ第一分科會ニ於テ、劈頭大藏大臣ヨリ議案全體ニ互ツテ其ノ内容ニ付テノ説明ガアリ、是ト同時ニ各分科會ニ於テ關係大臣ヨリソレノ所管事項ニ關シテ説明ヲ聴取致シマシタ後、各質疑ニ入ツタノデアリマス、今茲ニ簡單ニ質疑應答ノ一二ヲ申上ゲ、詳細ノコトハ速記録ニ依ツテ御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、先ヅ興亞院及興亞院連絡部ノ組織權限ノ内容ニ關スル質疑ガ行ハレマシタノデアリマスガ、右ニ關シテ政府ヨリ過般公布セラレマシタ官制ニ基キ、ソレノ兩官廳ノ組織權限等ニ付詳細説明ガアリマシタ、次ニ今後支那ニ於テ如何ナル政策ヲ實施セムトスルモノデアアルカトノ質問ニ對シ、政府ヨリ今後ニ於ケル支那各地ノ軍事行動ノ進展ニ即應シテ、是ト密接ナル連絡ヲ保チツ

ツ政治、經濟文化ノ各方面ニ互リ逐次事變目的達成ニ必要ナル政策ヲ實行スル積リデアルト云フ答辯ガアリマシタガ、委員ノ中ニハ此ノ政府ノ答辯ニ満足セズ、更ニ詳細ナル説明ヲ求メ、之ニ對シ政府ヨリ秘密會ヲ要求シテ説明ヲ致シ、委員モ大體満足ヲ致シタ趣デアリマス、右ノ外各省及各特別會計其ノ他ノ重要事項ニ付、質疑應答ガ行ハレタノデアリマスガ、是ハ全部速記録ニ讓リタイト存ジマス、分科會ニ於ケル審議ハ二十七日迄ニ全部終了致シ、昨二十八日豫算總會ヲ開キマシテ、各主査ヨリノ報告ガアリ、右三案ヲ一括シテ付議致シマシタ處、別ニ質疑モナク、討論モナク、直チニ採決ニ入リマシタ、採決ノ結果各案共原案通り、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決ヲ致シタルデアリマス、右ヲ以テ私ノ報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ三案全部ヲ問題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、森林法中改正法律案、日程第五、林業種苗法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、櫻内農林大臣

〔左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

院法第五十四條ニ依リ及送付候也 昭和十四年二月二十五日 衆議院議長 小山 松壽 貴族院議長 伯爵松平賴壽殿 森林法中改正法律案 森林法中左ノ通改正ス

第三條中「地租條例」ヲ「地租法」ニ改ム

第九條 命令ヲ以テ定ムル公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ハ其ノ所有スル森林又ハ造林ノ用ニ供スル土地ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施業案ヲ編成シ地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ認可ヲ受ケタル施業案ヲ變更セントスルトキ亦同シ

地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ施業案ヲ編成スルコトヲ要スル者又ハ前項ノ規定ニ依リ施業案ノ變更ヲ命セラレタル者之ヲ編成セス又ハ變更セザルトキハ地方長官ハ其ノ者ニ代リテ之ヲ編成シ又ハ變更スルコトヲ得

第十條 地方長官森林生産ノ保護ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ニ對シ其ノ森林ニ付區域又ハ箇所及期間ヲ定メ伐採方法又ハ造林其ノ他伐採ニ伴フ必要ナル事項ヲ指定スルコトヲ得

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ施業案ノ編成アリタル森林及第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ森林組合ノ施業案ノ編成アリタル森林ニ付テハ之ヲ適用セス

第十一條 公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者第九條ノ規定ニ依リ施業案ニ定メタル伐採、造林其ノ他ノ施業要件ニ準據セス又ハ前條ノ規定ニ依リ指定ニ從ハサルトキハ行政官廳ハ伐採ノ停止ヲ命シ又ハ其ノ者ニ代リテ自ラ伐採、造林其ノ他施業上必要ナル行爲ヲ

爲シ若ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ伐採停止ニ關スル規定ハ森林所有者カ其ノ生活ヲ維持スル爲ニ付得サルニ出テタル伐採ニ付テハ之ヲ適用セス

第十一條ノ二 第九條第三項ノ規定ニ依リ施業案ヲ編成シ若ハ變更スルニ要シタル費用又ハ前條ノ規定ニ依リ伐採、造林其ノ他施業上必要ナル行爲ヲ爲シ又ハ爲サシムルニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ行政執行法第六條ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十一條ノ三 地方長官國土保安其ノ他公益上特ニ必要アリト認ムルトキハ公有林、社寺有林又ハ私有林ノ所有者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ所有スル森林ニ付施業技術者ノ雇入ヲ命スルコトヲ得

第十三條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ
第十三條ノ二 行政官廳必要アリト認ムルトキハ森林產物ノ生産若ハ取引又ハ森林產物ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲ス者ニ對シ森林產物ノ需給ノ狀況ニ關スル事項ノ報告ヲ命シ又ハ之ニ關スル帳簿書類其ノ他ノ物件ニ付必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第十三條ノ三 二以上ノ府縣ニ互ル事項ニ關シテハ本章ニ規定シタル地方長官ノ職權ニ付勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十八條及第二十三條中「市町村役場」ノ下ニ「町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキ場所」ヲ加フ

第三十四條中「第十一條」ノ下ニ「及第十一條ノ二」ヲ加フ

第四十條、第四十九條、第五十條、第五十八條及第六十一條中「御料局」ヲ「帝室林野局」ニ改ム

「第五章 森林組合」ヲ「第五章 森林組合及森林組合聯合會」ニ改ム

第六十二條 森林組合ハ組合員ノ所有スル森林ニ付自ラ施業ヲ爲シ又ハ組合員ノ施業ヲ調整シ以テ森林生産ノ保護ヲ圖ルヲ以テ目的トス

組合ハ前項ノ目的ヲ達スル爲定款ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ノ一ノ事業ヲ行フ

一 組合員ノ所有スル森林ニ付施業案ヲ編成シ之ニ基キ施業ヲ爲スコト

二 組合員ノ爲ニ施業案ヲ編成シ之ニ基キ組合員ノ爲ニ施業ヲ調整シ及地區内森林ノ施業ニ必要ナル共同施設ヲ爲スコト

第六十四條 一定ノ地區内ニ於ケル森林ヲ所有スル者ハ定款ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ得テ森林組合ヲ設立スルコトヲ得

組合ノ地區ハ市町村又ハ之ニ準スヘキモノノ區域ニ依ル但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條 森林組合ハ其ノ名稱中ニ森林組合ナル文字ヲ用フヘシ

森林組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ森林組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第六十六條ノ二 地方長官森林生産ノ保護ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地區ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ森林組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命セラレタル者ハ前條ノ條件ニ從ヒ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六十九條ノ二 森林組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ經費ヲ組合員ニ分賦スルコトヲ得

第七十條第一項ノ規定ニ依リ組合員ニ

出資ヲ爲サシムル森林組合ニ付テハ前項ノ規定ニ依リ經費分賦ハ第六十二條第二項ニ規定スル事業ニ關シ命令ヲ以テ定ムル經費ニ限ル

第六十九條ノ三 森林組合ハ組合員ノ所有スル森林ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施業案ヲ編成シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ認可ヲ受ケタル施業案ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第九條第二項及第三項ノ規定ハ組合員ニ之ヲ準用ス

第六十九條ノ四 第十一條及第十一條ノ二ノ規定ハ第六十二條第二項第一號ノ事業ヲ行フ森林組合及同項第二號ノ事業ヲ行フ森林組合ノ組合員ニ之ヲ準用ス

第六十九條ノ五 第十一條ノ三ノ規定ハ森林組合ニ之ヲ準用ス

第六十九條ノ六 第六十二條第二項第一號ノ事業ヲ行フ森林組合ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外組合員ノ所有スル森林ニ付組合ノ施業ノ範圍ニ於テ使用及收益ヲ爲スノ權利ヲ有ス

前項ノ規定ニ依リ組合ノ收益ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ所有スル森林ノ評價額其ノ他命令ヲ以テ定ムル標準ニ依リ之ヲ組合員ニ分配スヘシ

第七十條 森林組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル組合ハ第六十二條第二項ニ規定スル事業ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

一 組合又ハ組合員ノ生産シタル森林產物ノ運搬、加工、保管及販賣ニ關スル施設ヲ爲スコト

二 組合員ノ森林ノ維持又ハ施業ニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲スコト

三。地區内ニ居住スル森林所有者ヲ創設スル爲地區内ノ森林ヲ取得スルコト

四 第六十二條第二項第二號ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ組合員ノ委託ニ依リ其ノ森林ノ施業ヲ爲スコト

第七十條ノ二 前條第一項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル森林組合ノ組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ出資一口ノ金額ノ最高限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十條ノ三 第七十條第一項ノ規定ニ依リ組合員ニ出資ヲ爲サシムル森林組合ニ在リテハ組合財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員ハ其ノ出資額及第六十九條ノ二ノ規定ニ依リ費用負擔ノ外定款ノ定ムル一定ノ金額(追補金額)ヲ限度トシテ組合ニ對シ責任ヲ負擔ス

前項ノ組合ハ拂込未済出資額及追補金額ニ付組合員ノ所有スル地區内ノ森林ノ上ニ先取特權ヲ有ス

前項ノ先取特權ハ其ノ優先權ノ順位ニ付テハ之ヲ不動産賣買ノ先取特權ト看做シ其ノ效力ニ付テハ民法中不動産賣買ノ先取特權ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十三條ヲ削リ第七十四條ヲ第七十三條トス

第七十四條 森林組合聯合會ハ所屬ノ森林組合及森林組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲之ヲ設立スルコトヲ得

聯合會ハ森林組合又ハ森林組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス

聯合會ヲ設立セントスルトキハ定款ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七十四條ノ二 森林組合聯合會ハ其ノ名稱中ニ森林組合聯合會ナル文字ヲ用フヘシ

ルコトヲ得ス

第七十四條ノ三 森林組合聯合會ハ定款

ノ定ムル所ニ依リ其ノ所屬組合又ハ聯合會ニ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ聯合會ノ所屬組合又ハ聯合會ノ責任ハ第七十四條ノ五ニ於テ準用シタル第六十九條ノ二第一項ノ規定ニ依ル費用負擔ノ外其ノ出資額ヲ限度トス

第七十四條ノ四 森林組合聯合會ハ主務大臣之ヲ監督ス

前項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第七十四條ノ五 第六十三條、第六十八條、第六十九條、第六十九條ノ二第一項、第七十條ノ二、第七十一條第二項及第七十二條ノ規定ハ森林組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第七十五條中「森林組合」ノ下ニ「及森林組合聯合會」ヲ、「其ノ他組合」ノ下ニ「及聯合會」ヲ加フ

第七十五條ノ次ニ左ノ三條ヲ加フ

第七十五條ノ二 森林組合又ハ森林組合聯合會ニ於テ本章ノ規定（第六十九條ノ四ニ於テ準用シタル第十一條及第六十九條ノ五ニ於テ準用シタル第十一條ノ三ノ規定ヲ除ク）又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十五條ノ三 第六十五條第二項及第七十四條ノ二第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第七十五條ノ四 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第八十三條中「重禁錮」ヲ「懲役」ニ、「贓額以上贓額二倍」ヲ「千圓」ニ改ム

第八十四條中「二月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス」

ヲ「五年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス」ニ改ム

第八十七條 森林竊盜ノ贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

森林竊盜ノ贓物ノ運搬、寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

第八十八條 他人ノ森林ニ放火シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

自己ノ森林ニ放火シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ニ延焼シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

第八十九條 火ヲ失シテ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

火ヲ失シテ自己ノ森林ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者亦前項ニ同シ

第九十條中「前條第二項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス」ヲ「第八十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス」ニ改ム

第九十一條中「三十圓」ヲ「百圓」ニ改メ同條但書ヲ削ル

第九十二條中「二十圓」ヲ「百圓」ニ改ム

第九十三條第一項中「二百圓」ヲ「三百圓」ニ、「同條第二項中」重禁錮及「二百圓」ヲ「懲役又ハ三百圓」ニ改ム

第九十四條中「五十圓」ヲ「百圓」ニ改ム

第九十四條ノ二 第十一條第一項（第六十九條ノ四ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依ル伐採停止ノ命令ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第九十五條中「二十圓」ヲ「五十圓」ニ改ム

第九十五條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十三條ノ二ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

二 第十三條ノ二ノ規定ニ依ル調査ヲ拒ミタル者

第九十六條中「百圓」ヲ「二百圓」ニ改ム

第九十七條中「二百圓」ヲ「三百圓」ニ改ム

第九十八條中「三十圓」ヲ「五十圓」ニ改ム

第九十九條ヲ削ル

第一百條ヲ第九十九條トシ同條中「二十圓」ヲ「五十圓」ニ改ム

第一百一條ヲ第一百條トシ同條中「二十圓」ヲ「百圓」ニ改ム

第一百二條ヲ第一百一條トシ同條中「五十圓」ヲ「百圓」ニ、「二百圓」ヲ「三百圓」ニ改ム

第一百三條ヲ第一百二條トス

第一百三條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第九十四條ノ二又ハ第九十五條ノ二第一號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第一百三條ノ二 第九十四條ノ二又ハ第九十五條ノ二第一號ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第一百六條 北海道ニ於テ本法ヲ適用スルニ付必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一百七條第二項中「第十一條」ノ下ニ「及第十一條ノ二」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

公有林又ハ社寺有林ニ付本法施行前地方長官ノ認可ヲ受ケタル施業案又ハ施業要

領ハ本法ニ依リ認可ヲ受ケタル施業案ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ設立セラレタル森林組合ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法施行ノ日より五年ヲ限り仍從前ノ例ニ依ル

前項ノ組合ハ前項ノ期間内ニ命令ノ定ムル所ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ得テ改正規定ニ依ル組合ト爲ルコトヲ得

第三項ノ組合ニシテ同項ノ期間内ニ改正規定ニ依ル組合ト爲ラサルモノハ其ノ期間満了ノ日ニ於テ解散ス

本法施行前從前ノ罰則ヲ適用スヘカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

林業種苗法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年二月二十五日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

林業種苗法案

第一條 本法ニ於テ種苗トハ林業ノ用ニ供スル樹木ノ種子及苗ヲ謂フ

第二條 本法ヲ適用スル種苗ノ樹種ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ優良ナル種苗ノ採取ニ適スル樹木又ハ其ノ集團ヲ母樹又ハ母樹林トシテ指定スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル指定ヲ受ケタル母樹又ハ母樹林ハ行政官廳ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ伐採スルコトヲ得ズ

第四條 行政官廳前條第一項ノ規定ニ依リ母樹又ハ母樹林ノ指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ其ノ樹木又ハ樹木ノ集團ノ所有者ニ通知シ且命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公示スベシ

第五條 行政官廳ハ母樹又ハ母樹林ノ所

有者ニ對シ母樹又ハ母樹林ノ保護又ハ管理ニ關シ必要ナル處置ヲ命ジ又ハ有害ナル行為ヲ制限シ若ハ禁止スルコトヲ得

第六條 行政官廳ハ母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シ母樹又ハ母樹林ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ母樹又ハ母樹林ノ所有者ニ對シ伐採ヲ停止セラレタルニ因ル直接ノ損失ヲ補償ス

前項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八條 行政官廳母樹又ハ母樹林トシテ存置スルノ必要ナシト認ムルトキハ母樹又ハ母樹林ノ指定ヲ解除スルコトヲ得

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 行政官廳ハ配付ノ目的ヲ以テスル種苗ノ採取ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ採取時期ヲ指定シ又ハ採取ニ適セザル樹木若ハ其ノ集團ヨリノ採取ヲ禁止スルコトヲ得

第十條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ種苗ノ種類ニ應ジ之ニ適スル配付區域ヲ指定シ又ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ種苗ノ輸出若ハ輸入ヲ制限シ若ハ禁止スルコトヲ得

第十一條 種苗ノ販賣ヲ業トスル者ハ其ノ業務ニ關シ命令ノ定ムル事項ヲ行政官廳ニ届出ヅベシ

第十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ種苗ノ販賣ヲ業トスル者ヲシテ其ノ販賣スル種苗ニ保證票ヲ添附セシムルコトヲ得

第十三條 行政官廳必要アリト認ムルト

キハ種苗ノ販賣ヲ業トスル者ニ對シ種苗ノ配給ノ狀況ニ關スル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ之ニ關スル帳簿書類其ノ他ノ物件ニ付必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第十四條 母樹又ハ母樹林ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲シタル手續其ノ他ノ行為ハ母樹又ハ母樹林ノ所有者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第三條第二項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ母樹又ハ母樹林ヲ伐採シタル者

二 第五條ノ規定ニ依リ命令又ハ制限若ハ禁止ニ違反シタル者

三 第六條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

四 配付ノ目的ヲ以テ第九條ノ規定ニ依リ指定又ハ禁止ニ違反シ種苗ヲ採取シタル者

五 第十條ノ規定ニ依リ指定ニ違反シ種苗ノ配付ヲ爲シ又ハ同條ノ規定ニ依リ制限若ハ禁止ニ違反シ種苗ノ輸出若ハ輸入ヲ爲シ若ハ爲サントシタル者

六 第十二條ノ規定ニ違反シ保證票ヲ添附セズシテ種苗ヲ販賣シ又ハ虛偽ノ保證票ヲ添附シテ種苗ヲ販賣シタル者

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十三條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

二 第十三條ノ規定ニ依リ調査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第十七條 種苗ノ販賣ヲ業トスル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第十五條第二號、第三號、第五號若ハ第六

號又ハ前條第一號ノ違反行為ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得

第十八條 第十五條第二號、第三號、第五號及第六號並ニ第十六條第一號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 第十一條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國務大臣(櫻內幸雄君) 只今議題トナリマシタ森林法中改正法律案及林業種苗法案ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、戰時經濟體制ノ進展スルニ伴ヒマシテ、建築用材、製炭資材、パルプ、資材、坑木用材、其ノ他木材ノ需要ガ顯著ニ増加シツ、アル反面ニ於キマシテ、國際收支改善ノ爲、外國產木材ノ輸入ガ強度ニ制限ヲ受ケルニ至リマシタ爲、木材ノ需要ハ主トシテ内地產木材ヲ以テ充足セネバナラヌ情勢ニ立ツタノデアリマシテ、其ノ結果内地森林、特ニ從來比較的施業ノ放漫デアリマシタ民有林ニ付テハ、漸次過伐早伐ノ傾向ヲ來シ、就中搬出ニ便利ナル地方ニ於テ、此ノ傾向ハ一層顯著デアリマス、從ツテ從來動モスレバ植伐不均衡ノ爲ニ貧弱トナツテ居リマシタ民有林ノ蓄積ハ、之ガ爲ニ最近頗ル減耗シツ、アリマシテ、今後此ノ儘之ヲ放置致シマスルナラバ、内地ニ於ケル木材給源ガ次第ニ枯渴シ、重要資源ノ自給方策ニ破綻ヲ來シ

マスルノミナラズ、治山治水其ノ他國土ノ保安ヲ阻害シ、各種災害頻發ノ誘因トナリ、銃後產業經濟ノ圓滑ナル進展及國民生活ノ安定ヲ甚ダシク脅威シ、延イテ戰時經濟ノ目的遂行ニ對スル重大ナル障礙ヲ來ス虞ガアルノデアリマス、茲ニ於テ民有林ニ於ケル施業ヲ合理化スルコトニ依リマシテ、間伐ノ徹底ノ普及、老齡過熟林分ノ經濟的利用開發ヲ促進スルト共ニ、幼齡未熟林分ノ濫伐ヲ抑制シ、又伐採跡地ノ造林ヲ厲行致シマシテ、以テ木材需給ノ現勢ニ即應シタ合理的植伐關係ヲ確立ヲ圖リ、森林資源ヲ培養シ時局下ニ於ケル各種木材ノ供給ヲ確保スルト共ニ、一面治山ノ基礎ヲ固クシテ災害ヲ防除スルコトハ、誠ニ喫緊ノ要務デアルト存ジマス、仍テ今回森林法中第二章營林ノ監督ニ關スル規定及第五章森林組合ニ關スル規定ヲ改正補足致シマシテ、民有林施業ヲ充實セシメ、以テ其ノ目的ノ達成ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、尙此ノ機會ニ於テ同法第七章罰則ニ關スル規定ヲ、現行刑法ノ規定ニ即應スル等、ソレト改正致シタイト存ズル次第デアリマス、次ニ林業種苗法案ニ付テ申上ゲマス、右ニ述ベマシタ如ク、現下木材需給ノ實勢ニ稽ヘマシテ、森林資源ノ造成ハ誠ニ刻下ノ急務ト存ジマスガ、造林ノ成績ハ其ノ種苗ノ良否ニ依存スルコトガ多大デアリマシテ、而モ種苗ノ良否ハ永年ノ歳月ガ經過シタ後ニ至ツテ初めて外部ニ現レテ來ルモノデアリマスカラ、一旦種苗ノ選擇ヲ誤ツタ場合ハ、十數年間ノ努力ヲ水泡ニ歸セシメルヤウナ結果ヲ招來スルノデアリマス、從ツテ造林ノ成績ヲ確保スル爲ニ、林業用種苗ノ主要ナモノニ付、優良ナル種子及苗木ヲ供給セシメルコトヲ主眼トシ、且適地適木ノ配置ニ萬全ヲ期スル爲、種苗配付及販賣ニ關シ必要ナル施設ヲ講ジ、以テ森林生産ノ成果ヲ確保シ、林業經營ノ基礎ヲ安定セシムル爲、林業種苗

法ヲ制定致シタイト存ズル次第アリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ通告ガゴザイマシタ、御許シテ致シマス、山本米三君

(山本米三君演壇ニ登ル)

○山本米三君 我ハ只今上程サレマシタ森林法中改正法律案ニ付キマシテ御質問ヲ申上ゲタイノデアリマス、本法案ハ農林大臣ノ御説明ノ如ク、近時木材ノ需要激増ニ連レ、民有林ニ於ケル植伐關係ハ益、不均衡ナル虞ガ多分ニアリマシテ、若シ此ノ儘ニ放置スレバ、漸次森林資源ヲ涸渫スルノミデナク、治山治水其ノ他國土保安上重大ナル結果ヲ招來シ、且又銃後國民生活ノ安定ヲ脅威シ、更ニ戰時經濟ノ運行上、大支障ヲ來ス虞アル爲、民有林ノ施業ヲ合理化スルコトニ依リ、資源培養ト森林生産ノ保護擴充ヲ圖ラムトスル爲ニ、此ノ森林法中改正案ヲ御提出ニナリマシタコトト思フノデアリマス、我ガ今更事新シク申ス迄モナク、我ガ國ノ森林ハ國土ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、元來森林ハ獨リ建築、土木、薪炭等、國民生活資材ノ給源ヲ爲スノミナラズ、農業、電氣其ノ他各種ノ重要産業ノ基礎ヲ爲シ、更ニ又治水、國土保安及堅實ナル國民風尚ヲ涵養確保スル、眞ニ偉大ナル役目ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、森林ノ興廢ガ國運ノ消長、國家ノ存亡ニ至甚ノ關係ヲ持ッテ居ルコトハ既ニ歴史ノ教フル所デアリマス、我ガ國藩制時代ニ見ルモ、森林ノ此ノ重大性ヲ認メタルモノハ、常ニ林政ヲ一藩施政ノ根幹トシテ、之ニ主力ヲ傾注セラレタノデアリマス、而シテ我ガ國森林ノ現狀ハ如何ト申シマスニ、其ノ面積ハ國土ノ七割ヲ占メテ居ルニ拘ラズ、多年ニ互ル國內山村ノ疲弊困憊ハ、植林事業ヲ著シク阻害シマシテ、伐採ハ遙カニ植栽ヲ超過

シ、造林未済ノ土地ガ漸次増加シツ、アルコトハ、國家ノ爲誠ニ痛歎ニ堪ヘザル所デアリマシテ、此ノ儘ニ推移スレバ將來由々敷キ事態ヲ招來スルニ至ルベク、眞ニ寒心スベキコトデアリマス、加之最近國運ノ興隆、文化ノ進運ト共ニ、木材ヲ原料トスル化學工業、特ニ「パルプ」工業ノ急激ナル勃興發達ヤ、其ノ他礦山業ノ進展ニ伴ヒ、木材ノ需要ガ更ニ増加シ、國產材ノミニテハ不足ヲ告ゲマシテ、連年外國ノ輸入ニ依ッテ漸ク需給ノ調整ヲ保ッテ居ル狀態デアリマシタ處、今回ノ日支事變勃發以來、國ノ産業經濟ハ戰時體制ニ移行致シマシテ、國際收支ノ調整上、木材「パルプ」モ皆輸入ヲ防遏制限シテ自給自足ノ建前ヲ取り、木材ノ増產ヲ必要トスルニ至ッタノデアリマス、茲ニ於テ一面ニハ努メテ幼齡樹ノ伐採ヲ抑制スルト共ニ、間伐ノ徹底ト老齡林ノ經濟的利用開發ヲナシ、以テ非常時局下ノ林業體制ヲ整備シ、木材ノ自給自足經濟ヲ遂行ト、國土保安ノ完璧ニ資シ、森林ノ持ッテ居ル重大使命ヲ果サセバナラヌノデアリマス、斯様ナ御趣旨ト斯様ナ目的デ今回民有林ノ施業合理化ヲ企圖スル此ノ改正案トナツタモノデアラウト思フノデアリマスカラ、其ノ御趣旨ニハ賛成スル者デアリマス、併シナガラ法案各條ヲ通讀致シマスルト、之ヲ實行ニ移シマシタ場合ニ於テ幾多ノ疑問ガアリマス、仍テ其ノ中三ツノ點ニ付質問申上ゲタイト存ジマス、第一ハ金融ノ問題デアリマス、此ノ法案ノ骨子ハ施業案ヲ作製シ、ソレニ依ッテ森林ノ合理的經營ヲナサシメ、早伐過伐ヲ禁止シ、又伐採跡地ニハ必ズ造林ヲナサシメルノガ目的デアリマス、元來林業ハ長年月ニ互リ投下セル經費ヲ固定シ、其ノ主タル收入ハ數十年ノ後ニ待ツ譯デアリマスカラ、其ノ間此ノ事態ニ適應セル金融ヲ必要トスルノデアリマス、而シテ早伐又ハ過伐ヲ差控ヘテ、施業案デ取極

メテ居ル植伐計畫通りニ實行スルニハ、我ガ國山村ノ實情ヲ以テシマシテハ、其ノ間小山林業家ハ必ズヤ山林ヲ金ニ換ヘタイ場合ノ、金融ノ必要ガ生ジテ來ルモノト認メナケレバナリマセヌ、此ノ金融問題ニ付衆議院本會議議決松尾議員ノ質問ニ對シ、政府ノ御答辯ハ「此ノ森林ニ對スル所ノ金融ニ付キマシテハ、是ハ餘程大問題デアリマスガ故ニ、先刻御話ノ如ク森林組合中央金庫ノ如キモノヲ設ケルト云フ風ナ御意見モ私共誠ニ傾聴致スノデアリマス、併シナガラ此ノ施業案ガ發達ヲ致シテ、餘程多數ノ施業組合ガ出來マシタ後ニハ、斯ウ云フコトモ出來ルノデアラウカト思フノデアリマスクレドモ、當初カラハムツカシイノデアリマス、併シ此ノ金融問題ニ對シマシテハ、政府ニ於テハ金融改善研究會ヲ設ケマシテ、銳意其ノ金融ノ途ヲ講ジタイト云フコトヲ研究シテ居ルヤウナ譯デアリマス、又馬岡議員ノ質問ニ對シテ政府ノ御答辯ハ「先刻松尾君ニ御答ヘ申上ゲマシタ通り、金融改善研究會ヲ設ケマシテ十分此ノ點ニ付テハ研究考慮シテ、其ノ不便ヲ除キタイト思ッテ居リマス」ト申サレテ居リマス、サウシマスルト、金融機關トシテハ差當リ勸業銀行又ハ農工銀行ニ扱ハセル御考カト存ゼラレマスガ、果シテ銀行ガ林業者ガ希望スル低利、長期ニ互ル貸付ニ應ズルヤハ疑問デアリマス、到底是ハ期待シ難キコトト思ヒマス、是ハ何トシテモ林業ニ特殊ナ強力ナル機關銀行ヲ此ノ法案ト並行シテ作ラネバ、法案ノ實施ト共ニ生ジテ來ル金融問題ノ解決ガ付キマセヌ、從ッテ折角ノ法案モ空文ニ終リ、之ガ徹底ヲ期スルコトガ出來マセヌ、第二ニ此ノ法案ノ改正ト共ニ、第三章ノ保安林ノ條項ヲ何故改正ナサラスノデアルカ、此ノ問題ニ對シ衆議院ニ於テ馬岡議員ノ質問ニ對スル政府ノ御答辯ハ「保安林ニ付キマシテハ種々考究スベキ點ガゴザ

イマスルクレドモ、色々研究致シマシタ結果、現在ハ此ノ儘ニ致シテ置キタイト考ヘタルノデアリマス、唯施業案ガ實行サレマシタ曉ニ於テ、保安林ヲ解除並ニ整理スベキ所ノモノガ澤山出テ來ルダラウト思ヒマス、從ッテ茲ニ緩和點ヲ見出スコトガ出來ルデハナカラウカト思ッテ居リマス」ト答辯サレマシタガ、本改正案ニテハ原則トシテハ民有林ハ、第九條ニ依リ施業案ヲ編成シ、植伐ヲ實行スルコトニナリ、若シ之ニ準據セザル場合ハ、行政官廳ハ第十一條ノ規定ニテ伐採ヲ停止シ、又ハ伐採造林等ノ代執行ヲ認メ、飽ク迄施業案ヲ實行セシムルコトニナツテ居ル故、保安林制度中水源涵養林ノ如キハ、右ノ施業合理化ニ依リ其ノ目的ヲ達シ得ルモノト認メラレ、從ッテ此ノ點ニ付保安林ノ現規定ノ改正ヲ考慮スルノ要アリト御認メニナルヤ如何デアリマスカ、又國土保安上特ニ治水ノ根源ヲナス治山事業ハ、現在農林內務兩省ニ依リ施行セラレツ、アリマス、面シテ兩省ノ事業計畫及實行ニ付テハ、各、其ノ分界ヲ定メ、ソレ「計畫シ實行セラルベキ管デハアリマスルガ、實際其ノ間連絡統一ヲ缺キ、爲ニ治水事業ノ成果ヲ阻害シツ、アルノハ周知ノ事實デアリマシテ、是ハ畢竟スルニ農林省所管ノ森林法ト內務省所管ノ砂防法トニ依リ、同一場所ニ對シ同一ノ目的ヲ以テ治水ノ施設ヲ爲シ得ルコトニナツテ居ル、法制上重複ノ缺陷ガ原因トナツテ居ルモノト認メラルルノデアリマス、仍テ森林法改正ニ當ッテハ、此ノ點ニ關シ保安林制度ト砂防法ニ關聯シ改正ヲ加ヘ、治水事業ノ完璧ヲ期スルノ要アリト御認メニナリマセヌカラ御尋ネ致シマス、第三、此ノ法案ノ實施ニ依リ小林業者ハ資本家ニ兼併セラレ、虞アリマセヌカ、本法案ノ實施ニ依リ山林所有者ハ、自ラ山林處分ヲ拘束セラレ、從來ニ比スレバ相當窮屈ナルモノトナルノデアアルガ爲ニ、少ク

トモ過渡的ニハ小林業者ハ將來ニ於テ從來ノ如キ自由ヲ失フコトヲ憂ヒ、自己所有ノ山林ヲ資本家ニ賣却スル傾向ヲ生ジ、林業ニ最モ肝要ナル愛林ノ美風ヲ滅却スル虞ガ多分ニアルモノト思ヒマス、愛林思想ハ其ノ山林ガ土著ノ所有者多キ所ニ厚ク、其ノ山林ガ土地ヲ離レテ居ル資本家ノ所有ニ歸シタル場合、稀薄ナルハ爭ハレナイ事實デアリマス、此ノ點ニ關シ如何ニ考慮シ、如何ナル用意ヲ持ツテ居ラル、ヤ、以上ノ三點ニ對シ明快ナル御答辯ヲ煩ハシタイノデアリマス

○國務大臣櫻內幸雄君演壇ニ登ル

對シテ御答ヲ致シマス、第一點ハ森林ニ對スル所ノ金融ニ付テノ御意見デアッタと思ヒマス、御話ノ如ク現在ノ森林金融ハ全然其ノ設備ガナク申シテモ宜シイ程ノ状態ニナツテ居リマス、是ハ何ニ因ルカト申シマス、申ス迄モナク森林事業ガ永年ニ互ツテ經營サレレベキモノデアルト云フコトガ一點デアリマス、又之ヲ抵當ニ取り若シハ金ヲ貸シマシタ際ニ、其ノ處分ノ方ニ於テ困ルト云フ點ガ含マレテ居ルノデアリマス、若シ現在ノ状態ニ置キマス、極ク平地ニ近イ所ノ森林デアリマスレバ、直チニ之ヲ伐採シテ市場ニ出スコトガ出來マスノデ、比較的金融ガ容易デアリマス、クレドモ、若シ之ガ山嶽ノ上部ニ位スル森林デアリマスナラバ、容易ニ之ガ金融ヲ圖ルコトガ出來ナイノデアリマス、而モ森林ノ増殖ヲ圖リ、之ガ開發ヲ致スコトガ刻下ノ急デアルト云フ所カラ考ヘマス、何トシテモ此ノ點ニ付キマシテハ力ヲ注ガナケレバ相成ラヌノデアリマス、從ヒマシテ政府ニ於キマシテハ此ノ森林ニ對スル所ノ金融ノ途ヲ開キマス爲ニ、森林ノ火災保險ト云フモノヲ國營ニ致シマシテ、金融ヲサレル方々ガ、森林業者ニ對シテ貸出ス所ノ點ニ

付テ、一ツノ安心ヲ與ヘル點ヲ考慮致シタルデアリマス、此ノ度ノ施業案モ此ノ金融ヲ援ケル上ニ於テ少カラザル貢獻ヲ致スコトヲ我々ハ考ヘルノデアリマス、如何トナレバ此ノ施業案ガ確定ヲ致シマスル結果ト致シマシテ、茲ニ林道ノ設備ガ出來、又伐採、造林等ガ總テ計畫的ニ決定致シマス結果、此ノ山林ニ對シテハ何年度ニハドノ位ノ木材ヲ容易ニ伐出スコトガ出來ル、而シテ年々其ノ搬出スル所ノ木材ノ量モ凡ソ見込ガ立ツノデアリマス、又之ニ伴ツテ造林ヲ致スノデアリマスルガ故ニ、將來ニ永續性ヲ以テ其ノ山林ノ價格ヲ生ズルコトナルノデアリマス、殊ニ大山林ヲ所有シテ居ラナイ、即チ極メテ小イ所ノ區域ヲ御所有ニナツテ居ル方々ハ、森林組合ヲ作ラセムシタアリマシテ、其ノ森林組合ヲ作ラセムシタ結果ハ、其ノ持分ガ假ニ擔保トナリマス、若シ之ガ金融業者ニ於テ處分ヲ致スコトニナリマシタ時ニ於テ、其ノ山林ノ矢張り森林組合ニ於テ管理サレテ居リマスルガ故ニ、安心シテ自分ガ經營セズトモ、其ノ組合ニ於テ其ノ事業ヲ繼續シテ行クコトガ出來ルノデアリマシテ、其ノ點ニ於テ比較的容易ニ金融ガ出來ルノデアリマス、詰リ金融業者ト致シマシテハ安ンジテ之ニ對シテ金融ヲ致スノ途ヲ開ケルコトト相成ルノデアリマシテ、從來カラ見マスル、金融ヲ圖ル上ニ於キマシテハ少ナカラザル利便ガアルト考ヘマス、此ノ問題ニ付キマシテ森林ノ特殊性ニ鑑ミテ或ハ森林銀行ノ如キ、或ハ森林金庫ノ如キ、斯ウ云フ金融機關ヲ設備スル必要ハナイカト云フ議論ガ相當アルノデアリマスガ、是ハ我々ト致シマシテモ其ノ必要ヲ認メナイノデアリマシテ、差

テ此ノ金融ニ不便ナキヲ期スルガ爲ニ、省內ニ於ケル所ノ者竝ニ他ノ有力ナル方々ヲ組織シタ所謂森林金融改善會ト云フモノヲ組織シマシテ、今之ガ審議ヲ續ケテ居ル次第デアリマシテ、適當ナル成案ヲ遠カラズ得ルコトト考ヘルノデアリマス、第二ニ保安林ニ關スル所ノ法律ヲ改正スルノ意思ハナイカ、又砂防法ニ關スル所ノ法律ヲ改正スルノ意思ハナイカト、斯ウ云フ風ナ御質疑デアッタヤウデアリマスガ、本施業案ガ出來マスル結果ト致シマシテハ、施業案ガ普及致シマスルコト自然ニ保安林ト云フモノハ整理致サレマシテ、改良致ス部分ガ相當出來ルデアラウト思ヒマス、又施業案ノ實施ニ伴ヒマシテ、保安林ニ指定スベキ所モ指定セズシテ濟ム場合ガ起ツテ來ルト考ヘマス故ニ、將來ニ於テ、其ノ發達ヲ致シタ曉ニ於テ、ドウ云フ方法ヲ講ジテ保安林ノ改正ヲスルカセヌカト云フコトニ付キマシテハ檢討ノ必要ガアルト思ヒマス、クレドモ、今日ニ於テハ保安林ニ對スル所ノ法律ヲ改正スル意思ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、治山治水ノ關係ニ於テ、農林ノ内務ト間ニ於テ各、別ナリ方ヲヤツテ居ルカラシテ、治山治水ノ目的ヲ達スルコトガ容易デハナカラウト云フ風ナ御意見ガアリマス、クレドモ、現在農林内務ノ兩省ノ間ニ於キマシテハ嚴然タル區畫ヲ設ケマシテ、所謂植林並ニ森林地帶ノ事柄ハ農林省ガ掌ツテ居リマス、河川ノ砂防ノ問題ハ内務省ノ所管ニナツテ居ルノデアリマシテ、常ニ雙方相連絡ヲ取りマシテ、互ニ注意ヲシ合フテ居ルノデアリマシテ、單ニ農林内務ガ獨ニヤツテ居ルヨリモ、ヨリ以上ニ成果ヲ擧ゲテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、今後ト雖モ十分ニ緊密ナル連絡ヲ取ツテ又遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス、第三ニ中小工業者ヲ脅威スルガ如キコトハナイカト云フ風ナ御意見デアッタト思ヒマスガ、此ノ施業案ノ

出來マシタ結果ト致シマシテハ、成ル程小サナ山林ヲ持タル方々ガ組合ヲ組織シナケレバナラヌ、施業案ヲ設ケナケレバナラヌ、少シク御不便デアラルヤウニ思ハレマス、クレドモ、併シ一面カラ申セバ、從來搬出スルコトノ出來ナカッタ所ノ木材ガ容易ニ搬出出來ル、又色々ナル設計、計畫ハ總テ計畫的ニ是ガ實行サレルノデアリマスルガ故ニ、單獨ニオヤリニナルヨリハ非常ニ利益ガアル、唯濫伐デアルトカ或ハ無暗矢鱈ニ自分ノ考ニ依ツテ樹ヲ伐リ出スコト云フヤウナコトハ出來スノデアリマス、クレドモ、ソレハ今日ニ於テモ各縣ニ於テ取締テ居ル所デアリマシテ、此ノ施業案ガ出來タ爲ニ、小山林ヲ持タル方々ノ不便ノ點ハ殆ド無イト云フテ宜カラウト思ヒマス、幾分ノ不便ハアルカモ知レマセヌケレドモ、其ノ不便ヲ補ヒマスニ於テ、大ナル取得ガアルト存ズルノデアリマス、殊ニ此ノ小山林ヲ御持チニナツテ居ル方々ガ、其ノ持分ヲ御賣却ニナルコトハ御隨意デアアルノデアリマス、故ニソレヲ何等拘束スルコトハ起ツテ參リマセヌ、又此ノ森林伐採方法デアルトカ、其ノ他ノ計畫ニ對シマシテモ、主トシテ自治的ニヤラセルノデアリマシテ、政府トシテハ之ガ指導ヲ致ス地位ニ立ツテ居ルダケデアリマス、加フルニ此ノ施業案ヲ實施スルニ至リマシテハ、其ノ設計ノ費用ニ於キマシテモ亦施業ヲ實施スルニ於テ、或ハ林道デアルトカ、間伐デアルトカ、造林デアルトカ云フモノニ對シマシテハ、政府ハ相當ノ金額ヲ之ニ助成致シマシテ、其ノ發達ヲ期シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、御心配ノヤウナ點ハナイト私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス、大體御答辯ヲ申上ゲマス

○山本米三君 簡單デゴザイマスノデ、此ノ席ヨリ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長(伯崎松平君) 宜シウゴザイマス

